

令和元年度第8回政策会議概要

- 1 開催日時：令和元年9月25日（水）9：10～9：25
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 次期「三重県教育施策大綱」中間案について

●藤本課長【戦略企画総務課】（資料1に基づき説明）

法に基づき策定している「三重県教育施策大綱」について、今年度が最終年度となっているため、次期の中間案策定作業を行っており、これまでに総合教育会議で3回協議いただき中間案をとりまとめた。

全体を、大綱策定の趣旨、教育を取り巻く社会情勢の変化、三重の教育にかかる基本方針、教育施策、「教育への県民力の結集」に向けて、の5つの章で構成している。計画期間は4年間、基本方針は現在と同様6つを掲げ、教育施策は現在の11施策を10施策に再編している。10月にはパブリックコメントを実施のうえ、年度内に策定を完了する予定である。

（質疑等なし）

議題2 三重県自転車活用推進計画（仮称）骨子案について

●天野課長【交通政策課】（資料2に基づき説明）

この計画では、県民も来訪者も自転車を安全で快適に利用できる環境づくりを目的とし、計画期間は令和2年度から5年度の4年間としている。

現状と課題については、「観光地域づくり」、「スポーツの振興・健康づくり」、「自転車活用にかかる環境整備」、「事故のない安全・安心の推進」の大きく4つの観点で整理をしている。

こうした現状等をふまえ、取組の方向性としては、「自転車を活用した地域の魅力づくり」、「サイクルスポーツの振興等による健康づくり」、「自転車を安全に安心して利用できるまちづくり」とし、それぞれの項目には、3～4の施策を位置づけている。

計画の推進体制としては、関係部局が施策を実施し、交通政策課が進捗管理等を行っていく予定であり、必要に応じ施策のブラッシュアップや、国の自転車活用推進計画の見直しなどをふまえた計画の見直しを行いたいと考えている。

☆大橋子ども・福祉部長

学生等が日常的に自転車をあまり利用していないと思われる。自転車活用推進計画の中で、学生をはじめとした自転車の利用促進に関する取組は位置づけられているのか。

●天野課長

目標2の「サイクルスポーツの振興等による健康づくり」、施策1の中で自転車利用の普及促進を記載しているが、これは、大学や競輪場等での子ども向け自転車乗り方教室の取組などを踏まえた内容となっている。

また、目標3の「自転車を安全に安心して利用できるまちづくり」、施策2の中で学校等における交通安全教室の開催なども位置づけているところである。

議題3 新三重県観光振興基本計画中間案について

●横山課長【観光政策課】(資料3に基づき説明)

現行の観光振興基本計画の計画期間が今年度末で終了するため、新しい計画である「三重県観光振興基本計画(令和2年度～5年度)」を策定する。

策定にあたっては、様々な方のご意見をいただいた上で、観光産業のSDGsへの貢献や、Society5.0の観点も取り入れて中間案を策定した。

観光誘客の推進、観光産業の振興の2つの戦略にそれぞれ3つの施策展開の柱を設けて6本柱で施策展開を図る。計画目標については、観光消費額など6項目を設定して、進捗を管理していく。施策展開の6本柱の中で各部局の取組が含まれている。

今後、10月9日に常任委員会で報告し、パブリックコメントを実施した上、三重県観光審議会に諮り、2月定例会議に議案として提出する予定である。

(質疑等なし)

議題4 三重県観光振興基本計画年次報告(平成30年度)について

●横山課長【観光政策課】(資料4に基づき説明)

観光振興基本計画の目標達成状況については、観光消費額が4年連続で増加し、神宮式年遷宮があった平成25年に迫る過去2番目の5,338億円となった。また、観光客満足度は過去最高となる29.9%を記録し、観光の産業化に向けた取組が着実に実を結びつつある。

●河口観光局長

観光振興は観光局だけで取り組むことができるわけではないため、各部局の協力をお願いしたい。

☆鈴木知事

現行の平成28年度から令和元年度の計画については、サミット、菓子博、インターハイ、新名神高速道路などの道路整備など、いろんなチャンスがあり、結果も出ていた。その前の

計画の際は式年遷宮があった。

次の計画については、イベント等がなくても誘客できる持続可能な観光に転換していくための時期としても大変重要であるため、観光振興については全部局をあげて取り組んでほしい。

以上